



小金井市議会議員

緑・市民自治こがねい 会派ニュース

坂井えつ子の Vol.14

つながる小金井通信

福祉
共生

民主主義
平和

小金井で
つながる
未来につなげる

まちづくり
環境
脱原発

発行日：2016年8月27日

発行：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」

小金井市本町6-6-3

今定例会の注目

6施設複合化プロジェクト 8月中に庁内プロジェクトチームによる最終報告

新庁舎&新福祉社会館 早期建設を第一に!

2016年度第3回定例会は8/29~10/4 (37日間) の予定

6月の中間報告は審議中断 市民参加も停滞

6/22の全員協議会で中間報告が出されるも、審議途中のまま休憩に。議会と市長間で調整を行うも協議続行は困難との判断で閉会となり、議会は資料を要求。その後、市長は中間報告に伴う補正予算案を取り下げました。



中間報告なので資料不足はやむなし。うまく進められなかった市長にも責任はありますが、担当課から全会派に事前説明もあったので、協議会当日の審議STOPは議会にも責任があると考えます。しっかりと質疑し、最終報告では資料を揃えることを求め、市民検討委員会の設置費用を含む補正予算案も通すべきだったのではないのでしょうか。各議員の主義・主張にも注目を!

ポイント

議会の要求資料①財政計画②スケジュール③新旧提案の比較資料は提出されるか

福祉重視&環境配慮の複合庁舎を!



閉館した福祉社会館には、通所施設の製作品販売所や福祉共同作業所、社会福祉協議会や公民館本館等が入っていました。福祉機能をどのように充実させていくのか、市民の意見も聞きながら進めていくべきです。そして、“雨デモ風デモハウス (環境楽習館)” のノウハウを活かした環境配慮型の新庁舎を!

あなたはどんな庁舎を望みますか。

※ 社協は、本町五丁目の民間事務所跡に仮移転済み

2016年度一般会計補正予算 11億3529万8千円
10億3000万は基金に積み立て

気になる事業

▶ 東小金井駅南口、6か所に設置される“防犯 (監視)”カメラ221万円。



カメラをつければ安心・安全? カメラで犯罪は防げない

▶ 「スーパーアクティブスクール事業講師など謝礼」を含む5つの都モデル事業 224万3千円。

坂井えつ子の一般質問

9/5(月)午後2時頃~

1 性的マイノリティ(LGBT)の人も自分らしく暮らせる小金井に

8月、LGBTの法科大学院生が大学内建物から転落死したことが明らかになった。「アウティング」が引き起こした自死であり、社会には、差別や偏見が残ることを改めて突き付けられた。

多様な性のありかたを互いに認めていける社会の実現が急務である。行政としてLGBTの人権を守ってこよう。

- ▶ 第四次男女共同参画行動計画における LGBTの位置づけは。
- ▶ LGBTの人権やLGBTを取り巻く社会状況をどう捉えているか、市長の見解は。
- ▶ 先進事例を参考に小金井でも取り組みを!
 - ・第五次男女共同参画行動計画で、「LGBTの人権」「差別禁止」を明文化しよう
 - ・LGBTの相談窓口を設置しよう
 - ・学校や市役所でLGBTを周知し、教職員研修を実施しよう
 - ・同性カップルの存在を小金井市として認めてこよう

2 広げよう! 政治参加 守ろう! 参政権

- ▶ 参院選・都知事選における市内18、19歳の投票率は。
- ▶ 今後行われる選挙のお知らせや啓発にどう活かしていくのか
- ▶ 投票率アップの取り組みは? 進捗を確認。期日前投票所の増設/ 音声・点字の選挙公報/ イベントポールへの懸垂幕掲出

小金井市議会 初の議会報告会

日時：10/23 (日) 午後3時~午後5時
会場：萌え木ホール (商工会館3階)

その他：手話通訳あり・保育あり
(保育は10/14 (金) までに事前申し込み)

問合せ：議会事務局

TEL:042-387-9947 FAX:042-387-1225

～6月議会～ 坂井えつ子の一般質問



災害時こそ 要配慮者に適切な配慮を

市内に17か所ある福祉避難所。要配慮者5296人を受け入れられる？避難所を増やせないか。周知が不十分と考える。更なる周知を！



避難生活を送るのは900人と想定。避難所の拡充に努めていく。今年度改訂の防災マップには「福祉避難所（二次避難所）」と併記する。



市内在住外国人はおよそ2000名。いのちを守るために情報収集は必須だが緊急時の多言語対応は困難と考える。「やさしい日本語」の活用を！



防災無線では取入れを検討する。安心・安全メールなど活用できるところは一定取り組みたい。



野川やはけ(国分寺崖線)と市民生活を壊す道路はいらない

野川とはけ(国分寺崖線)を守る条例を制定しないか



現状、都が指定する緑地保全地域、市が指定する環境保全緑地として保全を図っていて、今後も緑地保全及び緑化推進条例や東京都の直地保全地域制度と連携して保全を図ってきたい。

つまりは制定しないってこと



小金井にも みんなの学校を 障がいを持つ子どもと学校

就学相談が“まるで就学指導”のようだ。という市民の声を聞く。もっと相談者に寄り添った対応を！！(要望)

“障がい者差別解消法”に併せ合理的配慮を求める意見書、坂井が案文を作成しました

5/10、衆院の「障害者総合支援法改正案」審議で、難病のALS患者の意見陳述が「コミュニケーションに時間がかかるので議論が深まらない」との理由で直前に変更。立法府である国会による同法の理念無視は甚だ遺憾です。

国会において二度と排除を起こさないこと、すべての人が障がいの有無によらず共に生きていける社会の実現に全力を尽くすよう求めました(全会一致で採択)。

市政オープンミーティング

片山かおるさんと坂井が参加。市政について語り合おう！どなたでもお気軽にどうぞ。

日時：10/10(月・休) 午前10～12時

場所：カエルハウス(中町4-17-11 1F)

主催：緑・市民自治こがねい

<坂井えつ子 プロフィール>

●1980年生まれ。桜町在住。緑小、緑中、小金井北高卒業。●2015年12月市議補選で当選。厚生文教委員、行財政改革調査特別委員、広報協議会委員●国民健康保険運営協議会委員、都市計画審議会委員●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

このニュースは政務活動費で発行しています



行政視察報告

7/13 大阪府豊中市 「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」

「地域の課題は地域で解決」「その人を排除しない」という考え方が定着。市民ボランティア運営による「福祉なんでも相談窓口」(小学校区毎に設置)が“困っているひと”の受け皿のひとつで、CSWは市民をサポート。何かあったときに相談できる専門職がいるから市民も安心して動ける。14名のCSWがチームで対応。

7/14 富山市「富山型デイサービス」

赤ちゃんからお年寄り、障がいの有無に関わらず受け入れられる場所をつくりたいという思いから1995年、3人の看護師で開所した「このゆびとーまれ」。制度の隙間で民間が事業を開始。

徐々に制度が追いついていき、『富山型』と言われるまでに。介護保険指定施設でも、障がいのある方や児童が利用できるようになった。小規模・多機能・地域密着で運営。

ご意見・ご感想お寄せください

坂井えつ子 連絡先

小金井市中町4-17-11-1F

TEL：090-1796-7652

Mail：info@sakaietsuko.com

Blog 坂井えつ子の市議会ホーク

facebook

坂井えつ子

twitter

坂井えつ子

検索